

# 令和7年度 学校評価

上尾市立大石南小学校

4:良くてきた(そう思う)3:できた(だいたいそう思う)2:あまりできなかった(あまり思わない)1:できなかった(そう思わない)

↓ 平均値(前期:3.19/後期:3.22)に対し、上回った項目(黄色)、下回った項目(緑)

分類		自己評価		比較増減	改善策(後期)	学校関係者評価
		前期	後期			
		平均	平均			
教育目標の具現化	(1) 道徳教育やにこにこ班活動等を通して、「思いやりの子」(思いやりと優しさを抱き、互いに高め合う心)を育てる取組をしている。	3.07	3.31	↑		概ね適正である
	(2) 各教科や学級活動等の授業を通して、「よく考える子」(自分で考え、責任をもって行動し、自分の道を切り拓く力)を育てる取組をしている。	3.07	3.07	→		
	(3) 体育の授業を中心に、「元気な子」を育てる取組をしている。	3.47	3.50	↑	・サザンクロス運動は基礎体力の向上にとってもいいと思いました。	
	(4) 学校教育目標と学年目標の関連を図り、学年経営・学級経営の工夫・改善を行っている。	3.00	3.00	→		
	(5) 学年目標実現のため、教師間で共通理解を深め、達成のための工夫や取組をしている。	3.27	3.36	↑		
組織運営	(6) 自己有用感もてる学年・学級経営のために、具体的な工夫や取組をしている。	3.27	3.14	↓	・集団行動に重きを置いてしまっているのもっと個の良さを伸ばすような場を設定したい。	概ね適正である
	(7) 自らの分掌内容を把握し、前年度の課題解決等、具体的な取組をしている。	3.20	3.07	↓	・初めての分掌で分からないことも多かったのですが、前年度の反省等などデータで残しておいてくれたので、提案文書を作成する際とてもやりやすかったです。	・児童一人一人に寄り添った対応をお願いしたい。 ・不登校や発達障害について、積極的に研修を取り入れていただけるとよい。 ・いじめの早期発見、早期対応は、今後もぜひお願いしたい。
	(8) 児童とともに清掃活動を行ったり、教室廊下の掲示物を整理したりする等、校内の環境美化に努めている。	3.40	3.50	↑		
	(9) 児童のけがや病気について、養護教諭や保護者との連携を適切に行っている。	3.47	3.50	↑		
	(10) いじめ、不登校、問題行動の早期発見に努め、学校組織、保護者、関係機関と連携し、対応している。	3.40	3.36	↓	・不登校児や発達障害児に対して有効な手立てを学んでいきたい。	
	(11) 交通事故防止、不審者による事故防止等、安全指導を徹底している。	3.33	3.36	↑		
学習指導	(12) 授業において、基礎学力定着のために習熟や復習の場面を取り入れている。	3.40	3.29	↓		
	(13) 英語活動(外国語活動、外国語)の授業において、ALTを効果的に活用し、児童に「話すこと」を中心とした、コミュニケーションを図ることを楽しむ態度を身に付けさせている。	3.47	3.50	↑	・可能な限り、ALTと授業前に打合せを行う。	
	(14) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行っている。	3.13	3.07	↓		
	(15) 文字や線を丁寧に書く指導を行っている。	3.20	3.14	↓		
	(16) 児童がICT端末を活用できるような授業を展開している。	2.87	2.93	↑		
	(17) 毎時間のねらいを明確にし、効果的な発問・ICT活用・板書を工夫した授業を行っている。	3.07	3.14	↑	・昨年よりもICT端末の活用の頻度は増えたと思うが、利用の幅は狭く限られているので、その点は改善していく必要があるように思う。 ・子供の実態に合わせて活用は、している。	
	(18) 児童の実態を把握し、一人一人を大切に、個に応じた授業を工夫している。	3.13	3.29	↑		
	(19) 発表の仕方、聞き方、グループの話合いの仕方など、学習のルールを身に付ける指導に取り組んでいる。	3.33	3.36	↑		
	(20) 特別の教科「道徳」は、年間指導計画に基づき、計画的に実施している。	2.93	3.14	↑	・道徳についても、他教科同様の認識をしていく必要がある。	
	(21) 児童が主体的に活動できるように、係活動、委員会活動、クラブ活動を工夫している。	3.20	3.07	↓		
	(22) 児童が自ら進んで挨拶するよう、指導している。	3.33	3.21	↓	・具体的な指導ができなかった。 ・具体的な取り組みを取り入れていきたい。	
規律・体力	(23) 授業の前の学習準備ができるよう、また授業の開始時刻を守るよう、指導している。	3.20	3.36	↑		概ね適正である
	(24) ていねいな言葉遣い、相手の気持ちを考えた優しい言葉について、指導している。	3.27	3.21	↓	・自分自身の言葉づかいが良くないので、その点から改善していく必要がある。	
	(25) 大勢の中で、話をしっかり聞く児童を育てている。	3.27	3.29	↑		
	(26) 児童の体力の結果を分析して課題を明確にし、課題解決に向けた取組を行っている。	3.00	3.21	↑		
働き方	(27) 時間外在校時間(月45時間以内)を守ることができている。(繁忙期を除く)	2.87	3.29	↑	・計画的に仕事を進めることができるように、見通しをもって行っていきたいと思います。 ・時間を守れている皆さんは、どのように時間をやりくりしているのかいい方法を教えてほしいです。	
	(28) 働き方改革に対して、意見を交わしたり、実践に移したりすることができる職場である。	3.07	3.07	→		
	(29) 職場環境に対して、ワークライフバランスが取れていて、働きやすいと感じている。	3.00	3.07	↑	・厳選していただいているとは思いますが、放課後の会議や研修等でもう少し検討できないかなと思います。 生徒指導研修が年間複数回ある学校はここが初めてです。	

宿題改革	(30) 宿題改革による、これまで宿題で押さえていた内容(漢字・計算等)は、授業に汲み入れて補うことができている。	3.13	2.64	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業冒頭に取り入れているが、補いきれないときもあるため、数分でできることを積み重ねられるようにするために内容を計画することが必要だと思う。</li> <li>・漢字は授業の中に5分間必ず汲み入れています、計算は十分ではありません。授業を進めるだけで時間いっぱいになってしまい、習熟の時間はなかなか取れません。朝の音読タイムを計算タイムとする曜日を設けていいのかなと思います。</li> <li>・毎日10～15分くらいの習熟の時間を作って必ずやる。</li> <li>・朝の時間や授業内では補い切れていないと感じる。</li> <li>・漢字や計算は、授業の中で時間をとって行っていますが、全員が定着まで授業の中で行えているかという、そうではない児童もいると感じます。授業の中の5分間という時間では、繰り返し練習の時間が"足りない"ようにも思います。</li> <li>・保護者からは、学校からの宿題でないと子供がやらないの出してほしいという意見もありますが、子供の意識が「宿題はなくなった。やらなくてよい。」となってしまう状態で、宿題を課しても、提出しない子への指導が以前より大変なのかなと思います。しかし、自分のために自主学習の内容を考えて行っていくことも難しい状況です。余剰時数がどんどん減っていく中で、定着させる時間をどう学校でとっていくのか、大きな課題だと思っています。</li> <li>・授業で行っていても宿題分を補うのは大変だと思う。宿題をやめるのではなく、各学年の実態に合わせてある程度は宿題として出す課題があってもよいと思う。</li> <li>・最初の5分には復習を取り入れているが、学力が上がらない。</li> </ul>	概ね適正である  <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力が向上しないと教職員が感じているのであれば、家庭学習の在り方を見直すべきである。</li> <li>・計算や漢字ドリルは紙媒体の方がよいのではないか、よりよい学習方法を検討していただきたい。</li> </ul>
	合計値	95.82	96.45			
平均値	3.19	3.22				